

# 目次

## 論文

ふと手折タムの山 — 枕詞の秘義 —	木村紀子	1
朝廷儀式運営と豊臣政権	北堀光信	25
修士論文要旨 (平成十五年度)		
文学研究科 国文学専攻		
蕪村を支えた門人たち	糟谷尚子	59
『修紫田舎源氏』の書誌的考察	増山久美子	65
文学研究科 文化財史料学専攻		
興福寺大衆と放氏 — 朝廷訴訟制度にみる放氏の実態 —	大西由子	73
日本古代の外国使節迎接について	栗田さやか	77
神亀五年三月二十八日格について	河野健作	79
陰陽寮と天文現象	芝華恵	85
撫育方の論理とその社会的機能	立石智章	89
天文期京都における都市民の存在形態について	寺口千尋	91

木造金剛力士像の変遷	—その作風に関して—	.....	西岡幸一郎	95
近世社会における弔うきもち	(産死者をめぐる「もの語り」を中心に)	.....	野田恵	101
古代における離宮の存在意義について	.....	.....	水野祐輔	105
樂焼における伝統と現代	く第十五代・樂吉左衛門を中心に	.....	村上智美	109
近代石清水(男山)	八幡宮の存在意義について	.....	山本憲太朗	115
—「第二の宗廟」という存在を中心として—	.....	.....		